

平成23年

謹賀新年



「住民の皆さんと共に創る、
まちづくり」を進めます。



揖斐川町長
宗宮孝生

新年あけましておめでとございます。

輝かしい新春を迎え、今年も町民の皆さんにとって、よい1年でありますように、心からお祈り申し上げます。

さて昨年は、揖斐川町におきましては大きな災害もなく、比較的平穏な1年であったかと思えます。

合併以後、町づくり計画の重点プロジェクトであります、「公共交通」、「地域情報」、「道路」の3つのネットワーク整備と、教育・文化・福祉の向上に積極的に取り組む、住民の皆さんへの行政サービスの充実によ

り、現在その成果が着実に現れてまいりました。

平成22年度におきましては、今までの政策を継承しつつ「少子化対策・定住化の促進」を重点施策として政策を進めております。

少子化対策といたしましては、子どもを安心して産み育てる事ができるよう、経済的負担の軽減や子育てに関する相談など、トータル的な支援体制の継続と拡充を行っております。

町独自の「すこやかへび祝い金」や「不妊症治療費助成事業」などを継続するほか、妊婦健康診査の助成回数の拡充や、「新生児聴覚検査」の助成、新たに「ヒブワクチン接種事業」等を行っております。

また、乳幼児相談に対する体制を拡充するとともに、中学校卒業までの「医療費助成」など、子育てに関するトータル的な支援を行い、町の将来を担う子どもたちを、安心して産み育てることのできる環境づくりに取り組んでおります。

このほか次世代を担う子どもたち

の育成や、安心して教育が受けられる環境の整備としまして、幼児園や保育園などの施設整備や、小学校や中学校、屋内体育施設の耐震化も計画的に進めております。

定住化の促進としましては、定住に必要な基礎的な課題である住宅対策として、新築住宅にかかる固定資産税の町単独での減免措置や、揖斐川町内で、平成21年4月1日～平成24年3月31日までの間に新築し、または新築の専用住宅を購入し入居した方を対象に、最大で30万円の助成を行なう「新築住宅建設等奨励金制度」を継続し、町内で住宅を建てやすい環境づくりを行なっております。

これらの施策につきまして、現在までに多くの問い合わせや申請を頂き、その成果が確実に現れ、住民の皆さんの行政ニーズに的確に対応した施策が進んでいると考えております。

公営住宅の整備につきましては、堅永町営住宅の整備に取り組んでおり、定住化だけでなく養老鉄道への

乗車率向上といった相乗効果も期待しております。

また新たに県と連携して、県外からの移住・定住及び田舎くらしを推進するための体験事業を平成22年度から実施しており、新たな定住対策として取り組んでおります。

このほか、住民の皆さんが安全で安心して暮らせる地域づくりにつきましても、重要施策として取り組んでおります。

その一環として、整備を進めてきました「防災センターを兼ねた庁舎」につきましては、昨年8月に本体が完成しました。施設の完成により皆さんの大事な戸籍などの情報を保護できるとともに、災害発生時の指揮命令や、災害ボランティアの対応などが確実に行える体制が整備されました。このほか、地域防災の要である消防施設の整備や、防災備蓄品の整備も実施しております。

町の活性化の基盤であり、災害に強い地域づくりに必要な道路整備につきましましては、国道417号岡島橋架替にかかる橋台2基、橋脚1基が

発注済であり、平成24年開催の「ぎふ清流国体」までに完成することを目指しております。

また、横山鶴見バイパス関連工事への着手、本年6月に供用開始予定の国道303号「横山ダム湖の横断橋」も整備が進み、名称を「奥いび湖大橋」と決定いたしました。このほか町道の橋梁耐震化など、安心して通行できる道路網整備が大きく進んでまいりました。

また、地域医療の整備として医療機器の購入や各種がん検診、幅広い年代層を対象とした健康診断事業を実施し、住民の皆さんの健康づくり

を推進するほか、「養護老人ホーム揖斐川尚和園」や「老人保健施設山びこの郷」の改築、ディサービスセンターの設備整備などにより、福祉施設も充実してまいりました。

これらの事業の実施により、揖斐川町の「安全で安心なまちづくり」が、大きく進んでまいりました。

本年も「住んでみたい」、「住んでよかった」と住民の皆さんが実感できるよう、第一次総合計画の実現に向けた「元気なまちづくり」を進めてまいります。

依然として厳しい国・県の財政状況や、今後益々推進される地方分権

により、自己決定・自己責任による行政運営が、更に求められています。

住民の皆さんが安全で安心して暮らしていただけますよう、事業の見直しなどを行い、質の高い、メリハリのある行政運営を、今後も行なつてまいります。

私の考える行政運営の基本方針は、「住民の皆さんの身近で仕事をする事」、「そして「住民の皆さんと共に考え、共に歩み、そして共に創る！」すなわち「住民協働のまちづくり」であります。

どうか本年も、町政に対する変わらぬご支援と、ご協力を賜りますよう

新年のご挨拶



揖斐川町議会議長
宗宮 哲哉

新年あけましておめでとございます。輝かしい新春を迎えるにあたり、町民の皆様方のご多幸とご健勝をお祈り申し上げますとともに、日頃より町議会に対しまして、あたた

かいご支援、ご協力を賜っておりますことを心から感謝申し上げますと思います。どうぞ本年もよろしくお願いを申し上げます。

さて、長引く景気低迷のなか、景気は持ち直してきているものの依然として厳しい経済情勢であり、また、国におきましては、事業仕分けによる既存制度の見直しがおこなわれるなど、地方政治を取り巻く環境はますます多難な時代を迎え、その舵取りも厳しいものがあります。

このような社会情勢のなかで、本町においても、揖斐川町第一次総合計画に基づき「住みよいまちづくり」

を進めてまいります。

町民の皆様方の負託と信頼に応えられる議会として、町の将来像である「自然と歴史が育むふれあいと活力のある健康文化都市」の実現に向けて全力を尽くす所存でございます。

私ども議会といたしましては、これからも、皆様方のご意見を拝聴しながら、本町発展のため、より豊かな「住みよいまちづくり」をめざして議員が一丸となり、皆様方の信頼と期待に応えてまいりたいと存じます。

どうか、本年も町議会に対し、一層のご理解とご協力を賜りますよう

う、心からお願ひ申し上げます、年頭のご挨拶といたします。



お願い申し上げますとともに、町民の皆様方にとって今年も健康で明るく幸せで、大いなる飛躍の年となりますことを議員一同心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。